

学校全体で取り組むポジティブな行動支援 ～実践とよくある質問～

💡 自身のクラスや、児童生徒を想定して考えてみましょう

STEP
1

増やしたい、望ましい行動は何ですか？

望ましい行動を具体的に設定し、目標を決定しましょう。
(例) △ちゃんと話を聞く ○話している人の方を向いて話を聞く

STEP
2

望ましい行動を増やすために、どのような支援計画を作成しますか？

望ましい行動を増やすために、事前にどのような工夫ができるか、望ましい行動が起きたとき、クラスや児童生徒に対してどんな声掛けをするか、計画を立てましょう。
(例) 望ましい話の聞き方を可視化して掲示する
できている児童生徒に対し「先生と目があっていいね」と声をかける

STEP
3

計画を実行し、行動の記録をとりましょう。

(例) 朝の会の時間に教員の方を向いて話を聞いている人数をカウントする、帰りの時間に児童生徒が自己申告した人数をカウントする

STEP
4

記録をもとに計画を振り返り、成果が出たら児童生徒へのフィードバックと次の目標設定を、成果が出ない場合は計画の修正を行いましょう。

(例) 成果が出た場合…成果を児童生徒に発表し、次の望ましい行動を目標設定する
成果が出ない場合…行動の前を行動の後の工夫を振り返り、計画を修正する
修正した計画で再度STEP 3へ

よくある質問

Q.望ましい行動ではないときはどうする？

A.叱って行動を減らそうとするのではなく、**反応しないようにします。**

例えばページ上部の例の場合、「話している人の方を向かない・話を聞いていない」行動の時は、「話を聞きなさい」と叱るのではなく、望ましい行動ができている児童に着目して、具体的・即時的に褒めることが大切です。ただし、児童生徒の安全に関わることなど、すぐにその行動を止めなければいけないときは例外です。

Q.褒めるだけで指導はしない？

A.もちろん指導もします。「ただ褒めるだけ」ではありません。

PBSでは、「望ましい行動を、ポジティブな方法で育てること」を大切にしています。ただ甘やかす、ということではありません。望ましい行動とは何かがわかるよう、的確に指示を出したり、適切な行動を明確に示したりすることは必要です。

参考資料



令和2年度指導の重点・主な施策
「気になる行動へのアプローチ」



学習指導要領
配慮事項一覧 (小学校)



学習指導要領
配慮事項一覧 (中学校)

PBSを導入することで、
教師も児童生徒も笑顔でいる
学級づくりが期待できます

